

練習試合 2017年08月26日 矢掛高校 VS 米子工業高校 @うぐいす球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢掛	2	2	0	0	0	0	0	1	2	7
米子工業	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3

矢:花岡一小池、真砂

文責:松森 李紀(普通科探究コース)

矢掛高校の先発は、1年生右腕の花岡(木之子中)。

- 1回表、矢掛高校の攻撃。先頭の赤木(小北中)が相手の失策で出塁し、さらに盗塁も決める。次打者の大山(小北中)も四球で出塁。続く小川(真備中)の放った打球が悪送球を誘い、2点を先制する。さらに、一死から佐藤武蔵(木之子中)が中前打を放ち、盗塁も決め一死二・三塁とチャンスが拡大する。二死から小池(総社西中)が死球で出塁し満塁となるも、後続は抑えられ、追加点は奪えない。
- 1回裏、米子工業高校の攻撃。先頭打者に中前打を放たれ犠打で一死二塁。さらに、死球と失策で走者をためるが、最後の打者から三振を奪い、無失点の立ち上がり。
- 2回表、矢掛高校の攻撃。二死から大山が相手の失策により出塁し、連続盗塁を決め二死三塁とする。次打者の小川は四球と盗塁で、二死二・三塁とチャンスを拡大する。続く猪原(高屋中)が左越二塁打を放ち、2点を追加する。さらに猪原は三盗を決める。続く佐藤武蔵は死球で出塁する。二盗を決め、チャンスを拡大させるが、追加点は奪えない。矢掛高校はこの回も2点を奪い、優位に試合を進める。
- 3回表、矢掛高校の攻撃。二死から花岡が失策で出塁するも、後続が続かない。
- 3回裏、米子工業高校の攻撃。二死から、四球と盗塁で背負ったピンチに、中越二塁打を放たれ、1点を許す。
- 7回表、矢掛高校の攻撃。硬直状態の試合は、二死から小川が四球で出塁するも、盗塁死でこの回も無得点。
- 8回表、矢掛高校の攻撃。一死から途中出場の三澤(真備東中)が四球で出塁する。次打者の真砂(木之子中)が放った痛烈な左前打を外野手が後逸する間に、一塁走者が生還し1点を追加する。さらに真砂は三塁まで進む。さらに、続く小池の内野ゴロで本塁を狙うがタッチアウトとなり、この回1点にとどまる。
- 8回裏、米子工業高校の攻撃。先頭打者に右前打を放たれるが、真砂が盗塁を刺し、一死。二死から四球と右前打で、二死一・二塁とされ、続く打者に放たれた左前打を後逸し、2点を奪われる。
- 9回表、矢掛高校の攻撃。守備から出場している先頭の中村(矢掛中)が四球で出塁し、さらに盗塁も決める。続く赤木の進塁打で一死三塁。続く大山が放った内野ゴロが失策となり1点を追加する。さらに大山は連続盗塁を決め、一死三塁のチャンスを迎える。続く小川が中前打を放ち1点を追加。さらに失策の間に二塁へ進塁する。その後は連続三振で抑えられるが、この回2点を追加する。
- 9回裏、米子工業高校の攻撃。連打で一死一・二塁とされるが、落ち着て後続を抑え、無失点で試合終了。

矢掛高校は7-3で米子工業高校に勝利した。序盤で4点を先制し、理想的な試合運びができたと思う。しかし、失策や四死球で出塁することが多く、五安打しか放てなかった打線は、思い切ったスイングができるようになればもっと強くなれると思うので、打つ場面では思いっきり打って、勝利に繋げていきたい。また、最近、声掛けの音が小さいという課題がまた見られているように思うので、日々の練習からしっかり声を出して行ってほしい。

新チームの戦績

10 勝 1 敗 1 分